

隅田川の川面が春の陽を浴びて輝く中、日本介護福祉グループでは、本日男性 13 名、女性 16 名、計 29 名の新入社員を迎え入社式を行いました。式では、藤田代表取締役会長、小柳代表をはじめ役員全員から新しい仲間へ激励の言葉が贈られました。そして、29 名の新入社員一人ひとりが自己紹介したあと、社会への門出に際しその決意を表明してくれました。



決意表明(抜粋)

本日この日より、私達は日本介護福祉グループの一員として、また新社会人としてのスタートを切れた事を大変嬉しく思います。私達は、年齢やこれまで学んできた事などだけでなく、本当に多様な人物で構成されています。『地元で独立をしたい』『福祉教育を見直したい』『取り組みを業界全体に広めたい』様々な価値観を持った新入社員が、今この場に揃っております。

しかし私達は、こうした様々な価値観を持っていようと、介護を職とすることで人と深く接し、人間として成長していきたいというベースで繋がっていることに、変わりはありません。また、先程述べた目標も、人としての成長無くして達成出来るものではないと考えます。

私達は自身の言動に根拠と責任を持ち、日々の仕事に励む所存です。

そして、ご利用者とご家族、先輩社員、地域住民、取引先の方々など、日々の仕事に関わるステイクホルダーにいつどこで自身を見られようとも恥ずかしくない人材として働こうと思います。

新社会人としても人としても、この日本介護福祉グループと共に成長を遂げ、各々の目標を成し遂げていく事を、ここに誓います。

このあと、新入社員は本社ならびに現場での研修を経て、各事業所に飛び立っていきます。